

令和7年度 第2回関市社会教育委員の会・関市公民館運営審議会 会議録

1 日時

開会 令和8年3月18日（水曜日） 13時30分

2 場所

わかくさ・プラザ 学習情報館 3階 3-2研修室

3 出席者

委員（13名）

敬称略

氏名	区分
清水 宗夫	関市青少年健全育成協議会
蓑島 昌尚	関市スポーツ協会
鈴木 幸子	学識経験者
太田 尚文	学識経験者
早川 貞子	学識経験者
長屋 芳子	洞戸地域代表
三島 善伸	板取地域代表
西田 英子	武芸川地域代表
鷲見 花実子	武芸川地域代表
土屋 昭代	武儀地域代表
大坪 博子	武儀地域代表
長谷部 弥生	上之保地域代表

4 説明のため出席した職員

協働推進部長 多田 和生
生涯学習課長 野田 和江

5 出席した事務局職員

生涯学習課 深川 理代

6 欠席者（3名）

敬称略

氏名	区分
向井 昇	関市校長会代表
藤吉 智志	関市PTA連合会
堀野 慎吉	関市文化協会

7 傍聴者 なし

8 議事日程

開会

1 協働推進部長あいさつ

2 関市社会教育委員の会

① 学校と地域の連携に関する調査結果報告書について

3 関市公民館運営審議会

② 令和7年度公民館事業実績報告及び令和8年度公民館事業予定

1 開会

(事務局)

<関市民憲章の唱和>

<生涯学習都市宣言の唱和>

2 協働推進部長あいさつ

(協働推進部長)

みなさん、こんにちは。

厳しかった寒さも少し和らぎ幾分春の訪れを感じるようになってまいりました。今年度も残すところ2週間程度となりましたが、委員の皆さまにはこの1年間、様々な場面でご支援、ご協力を賜り、各種事業が実施できましたことにお礼を申し上げますところでございます。

本日は何かとご多用のなか、関市社会教育委員の会・公民館運営審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。来年度の事業がよりよいものとなるよう、本日もいろいろとご意見を頂戴したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

さて、来年度につきましては、アテナ工業アリーナが年間を通して休館となるほか、後ほど事務局より説明がありますが、学習情報館も部分的に休館となるなど、市民の皆様の学習活動の場に一部制約が生じる見込みです。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、これは施設の長寿命化やリニューアルを図るための重要な事業でございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

市民が健康でいきいき学べる生涯学習社会を構築するため、委員の皆様の役割はますます重要になっていくと考えます。委員各位におかれましては、今までと同様に格別なご理解とご支援を賜りたいと思いますので宜しくようお願い申し上げあいさつといたします。

3 関市社会教育委員の会

①学校と地域の連携に関する調査結果報告書について

(事務局)

<資料1に基づいて説明>

(議長)

これまでの内容でご意見、ご質問はありませんか。

(委員)

調査内容は非常に良くできていますが、懸念点として、地域学校協働活動が始まった当初からだいぶ時間がたってしまったということがあげられると思います。これをどのように次へと繋げていくのか、非常に期待しております。それに関連して、社会教育委員はどのような形で配置されていますか。それと、現在は学校運営協議会がコミュニティースク

ールとして存在するだけで、本来の地域学校協働活動では、協働活動の本部を設置する動きをするはずですが、それが設置されていないため、当然ながら活動が進んでいないという状況があるのではないのでしょうか。本部についてはどのように考えていますか。

(事務局)

社会教育委員の学校運営協議会への参加についてですが、学校運営協議会の所管は教育委員会であるため、協働推進部から「こうすべき」「こうしたい」と断定的な発言はしにくい状況です。しかし、今回のアンケート結果を見ると、社会教育委員の皆様がその立場として出席している場合だけでなく、地域代表として出席されている場合もございますので、実際の参加者数はこの数値よりも高いと認識しています。

協働活動本部についてですが、国が構想する「本部」という組織体と、本市の地域委員会という組織体は、イメージが同じであると認識しております。そのため、新たに「本部」を設置することは考えておらず、既存の地域委員会を基盤として活動を進めていきたいと考えております。

(委員)

全体的な調査結果の傾向を見ると、小学校は地域との交流や活動に対して、学校側も前向きである、望ましい方向へ向かいたいという印象を資料から受けました。一方で、中学校の場合、高校受験が目の前にあるとなると、どうしても学力向上や教科に力を入れ、点数を上げたいという考えがあるのではないのでしょうか。社会教育委員である私たちは学校と関わっていますが、それ以外にも多くの地域の方々が学校へ関わっています。しかし、今後は、学校全体を含め、そうした活動が形骸化しないよう、もっと意識を高めていく必要があると思います。

(委員)

これはなかなか良いアンケートだと感じています。このアンケートを通じて、「なるほど、このことはこう繋がるのだな」と、以前から考えていたことが腑に落ちました。連携が必要なことは分かっていますが、それを実際に進めていくための軌道修正を行う主体が存在しないという現状があります。このアンケートで意見を聞いた側が、どのようにそれを形にしていくかによって、方向性が変わってくるでしょう。学校と地域をどのように調整していくか、その中心となる「核」のような存在がどこにあるのか、それが明確になるといいと思います。例えば、社会教育委員のところに来れば「今、こういう現状ですよ」ということが分かるというように、私たちにとって具体的な活動のヒントを与えてくれ、大変参考になりました。

(委員)

小学校のコーディネーターをされている方から聞いた話です。以前は学校からお願いされて、色々な活動を行っていましたが、先生が変わって依頼が来なくなってしまったと。新しい先生が赴任されるごとに、状況が変わってしまう現実があるようです。

(委員)

このアンケートでよく出てくる言葉に、学校の多忙や教員の働き方改革というものがあります。昔の教員は朝7時から夜10時まで勤務し、部活動だけでなく、校長先生や教頭先生から頼まれれば、それがたとえ正式な依頼でなくても、進んで仕事をしていました。現在の教員と地域の人々、特に若い世代との間には、生活における大きなズレがあると感じています。関市には地域クラブというものがあり、学校の部活動は今年の4月から土日もなくなります。さらに、夏休みからは平日の部活動もなくなります。学校でいう「顧問」という役職がなくなります。これまでは各部に一人ずつ顧問がいましたが、その顧問という役割がなくなってしまうのです。先生方の働き方改革で土日を休ませた場合、スポーツクラブを運営している方々は、5日間は自分の仕事をし、土日に地域クラブを運営しているのです。この方々の働き方改革はどうなるのでしょうか。ですので、先生方も働き方改革で空いた時間を、このようなボランティア活動に活用するなどということは、本来は校長や教育委員会も推奨していくべきではないかと思います。

(委員)

地域委員会と学校は様々な形で連絡を取り合っています。年に数回、中学校の奉仕活動として清掃などにご協力をお願いしており、地域の方々には名簿を作成し、参加者の集計も行っています。教頭先生や、その時に来られる方が写真も撮ってくださるので、そういった記録は残っており、皆様もそれなりに参加してくださっているようです。

中学1年生の子が、幼稚園へ月に1回、またはその都度、ボランティアに行っているが、しかし小学校と幼稚園の連携がないので、そのボランティア活動を学校へ報告できないと相談にきました。もちろん、小学校、中学校、地域委員会、地域住民との繋がりは非常に重要ですが、ほとんどの子どもが2歳から幼稚園に通っていますので、一つの幼稚園だけでなく、様々な幼稚園との連携もやはり大切だと考えております。

(議長)

今回、様々なデータや問題点が提示され、こういうこともやらなければならないということが分かりました。そこで、次に社会教育委員会として、こういう行動をやっていきましようという提案をしたいのです。こういうことをやろう、全体でやろうという具体的な行動目標を一つ作れば、比較的活動しやすく、注目も集まりやすく、そして実績も作りやすいと思います。この場で、具体的な行動目標について検討する機会を設けたいと考えていますがいかがでしょうか。

皆様のご了解をいただければ、この会で社会教育委員はこういうことをやっています、ということが分かりやすいような目標を立てたいと考えています。各自持ち帰って、次の会議までに案を考えていただいて、皆で議論し提案できる準備をしたいと考えています。

(事務局)

そうしますと、例年、年度当初は6月に会を実施するのですが、もう少し早い方が良いでしょう。今回はまだ任期の途中なので、時期を少し早めることは可能かと思えます。

(委員)

会の中で例えば教育委員会との意見交換や教育長に提言というようなことができればいいと思います。

(事務局)

それでは来年度第1回を5月中ごろでご案内をしたいと思います。

②令和8年度会議等開催予定について

(事務局)

<資料2に基づいて説明>

(議長)

これまでの内容でご意見、ご質問はありませんか。

(委員)

いきいきフェスタですが、連休の中日で実施になるのですね。

(事務局)

例年11月の下旬がメインの日でしたが、後ほど説明させていただきます通り、施設の改修工事のため、いつもいきいきフェスタに出展いただいている皆様に「どういたしましょうか」とお諮りしたところ、日程が変わっても、日頃の成果を発表したいというご意見を多数いただきました。そのため、開催時期を少し早め、9月20日を予定しています。また、会場を確保できる日程という点で、この20日を現在のところ予定しています。例年であれば7月から11月、12月にかけて準備していたものが、7月から8月にかけての準備となるため、準備期間が短くなります。成果としてどれだけできるかという心配も皆様お持ちですが、やはり発表したいというご意見が多いです。

(議長)

これで社会教育委員の会を閉じます。

4 関市公民館運営審議会

①令和7年度公民館事業実績報告及び令和8年度公民館事業予定

(会長)

公民館運営審議会に移ります。

令和7年度公民館事業実績報告及び令和8年度公民館事業予定について事務局説明をお願いします。

(事務局)

<資料に基づき説明>

(会長)

ご意見ご質問はございますか。

(委員)

婚活事業ですが非会員というのはどういった意味ですか。

(事務局)

どこかで別の場所では出会った会員ではない方との婚活もサポートしているということで。会員さんが出会われた方と上手く成婚に結びつくようにサポートしています。

(委員)

親子講座は夏休みだけの実施ですか。冬休みなどはどうでしょうか。

(事務局)

夏休みという、学校の長期休暇を活用して実施した企画という位置づけですので、年末年始を挟む冬休みだと、企画が難しいかなという側面があります。参加していただけるかどうか懸念点です。また、例えば秋に実施しようかと考えてみたこともありますが、やはり長期間の休みに実施するということに意味があると考えています。その長期休暇を最大限に活用して、子どもたちに何か体験してもらおうという意図がありますので、今のところは夏休みだけの実施を考えています。

(委員)

休館中の図書の貸し出しはどうなりますか。

(事務局)

図書館の貸し出しは、予約制にはなりますが、お隣の総合福祉会館を使って実施します。

(委員)

さわやか学級は女性が9割など男性と女性で状況が異なるのですね。80歳以上の方も多いとの事でしたが、その年齢になっても積極的に学ぼうとする意欲は、本当に素晴らしいです。

(事務局)

働く年齢が少し上がってきて、定年延長のような形になっているため、年齢が高くなっても働いている方が多くなっています。そのため、昼間の時間を自由に使えるとなると、少し年齢層が高い方が参加しやすい傾向にあり、60代よりも70代の方が多いと見ています。

(委員)

どの講座も評判が良いのですね。

(事務局)

さわやか学級の高齢者向けの講座を見ても、参加人数はかなり多いです。100人を超えるものもありますし、例えば、体の調子を整える健康体操のような講座では、多目的ホールに椅子を並べて個々に参加していただくのですが、もう隙間がないほど多くの方にお越しいただいております。これ以上人数を増やすのは難しいほどで、もし増やすなら回数を増やさなければならないと考えているほどです。多くの方にお越しただけて、私たちも大変嬉しく思っております。

(委員)

旧市内の住民の方々にとっては良いのですが、新たに合併した地域の方々にとっては、自転車で移動するのも、車で移動するのも大変な状況です。公共交通機関を利用しようにも、難しい現状があります。地域での開催はどのようになっていますか。

(事務局)

成人学校や親子教室は地域開催もやっていますが、全ての講座を地域でも開催することは難しい状況です。

(委員)

旧地域と旧関市の間には情報格差があるように感じています。またデジタルの格差もあります。情報発信はどのようにしていますか。

(事務局)

基本的には広報誌、ホームページ、安心メールなど、様々な媒体を使って情報を発信しています。

(会長)

これで公民館運営審議会を閉じます。

5 おわりのあいさつ

(野田課長)

皆様、大変多くのご意見をいただき、ありがとうございました。皆様からいただいたご意見を参考にしながら、すぐにやってくる来年度に向けて準備を進めてまいりたいと存じます。皆様の任期は、先ほど申し上げましたとおり、来年度も引き続きとなりますので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。ありがとうございました。

午後15時10分閉会